

第9回協議会（勉強会）の概要について

1 日時
平成25年1月31日（木）16:00～16:40

2 出席者
松村佳子委員長
花山院弘匡委員長職務代理
佐藤進委員
森本哲次委員
藤井宣夫委員
富岡将人教育長

3 テーマ
「学校コミュニティの推進について」

4 協議内容
事務局から、平成24年度地域教育力推進モデル校（春スタート5校及び秋スタート10校）の進捗状況について説明があった。また、取組全体を通して、「地域と教職員のコミュニケーションが増えた。」「熟議を通じて課題が見え、共通理解が進んだ。」「既存の取組を見直す契機となった。」などのメリットがみられたことを報告した。

委員から、本県の教育課題である規範意識の向上について質問があった。これに対して教育長が、本県は他府県に比べて器物破損が多いという結果がみられることや、課題解決に向けた取組として、学校コミュニティの仕組みづくりに力を入れている旨を回答した。また、次の3点について説明を加えた。本県では、これまでモデル例がなかったため、学校を中心にコミュニティを再構成していくことは、大きなチャレンジととらえている。

京都市立御所南小学校の成功実証例や、トラビス・ハーシの「ソーシャル・ボンド理論」を例に挙げ、学校と保護者、地域住民が熟議を重ね、協働して取組を進めることで、社会的な絆や帰属意識が高まり、その結果として、規範意識・社会性が向上することが期待できる。この取組を広げ、平成25年度中には、県内全公立小中学校の85%以上が実施する予定である。

委員から、「県が地域と共にある学校づくりを目指して取組を進めていることは評価ができる。」との意見の他、「学校だけでなく、地域もいけないことはいけないと発信していかなければならない。」「大人が共通の価値観をもって、子どもを育てていくことが大事である。」などの意見が出された。

次回は2月14日（木）の予定で、引き続き、学校コミュニティの推進について議論を深めることにする。

第10回協議会（勉強会）の概要について

1 日時
平成25年2月14日（木）16:00～17:00

2 出席者
松村佳子委員長
花山院弘匡委員長職務代理
森本哲次委員
藤井宣夫委員
富岡將人教育長

3 テーマ
「学校コミュニティの推進について」

4 協議内容

事務局から、平成25年度の新規事業である学校・地域パートナーシップ事業の概要（事業目的、規模、内容）や、国の補助事業（学校・家庭・地域の連携による教育支援活動の促進）についての説明があった。

委員から、旧事業と新規事業の相違点について質問があった。これに対して、事務局が、学校の校務分掌に「コミュニティ部」を組織し、学校と地域住民が熟議を重ねる「学校コミュニティ協議会」を設置することに違いがあると説明した。

加えて教育長が、保護者や地域住民が学校の要請に応じて教育活動を支援する関係から、学校と地域住民がパートナーシップの関係に変わり課題解決に取り組む学校コミュニティの仕組みづくりが整ったこと、この取組を「奈良モデル」と呼び、地域に根付かせていきたいこと、次のステップとして奈良県版コミュニティ・スクールがあることを説明した。

委員から、取組の実施件数に関する質問があり、事務局が「今年度の実施は27市町村141か所であったが、次年度は38市町村を対象として191か所の予定で、大幅に増えている。」と回答した。委員からは、「地域の方々が子どもと関わる中でいきいき活動している話を聞いた。」「この取組を積極的にアピールし、定着させてほしい。」「リタイアされた団塊の世代の方など、人材を広く活用してほしい。」との意見が出された。

次回の勉強会は4月25日（木）の予定で、テーマについては平成25年度第1回定例教育委員会終了後に決定する。